

上越火力発電所1号機の営業運転開始について

当社上越火力発電所1号機（新潟県上越市、出力：57.2万kW、燃料：LNG気化ガス、以下「上越1号機」）は、本日、営業運転を開始いたしました。

上越1号機は、自社火力設備の経年化が進んでいる状況や、競争環境の進展を踏まえ、計画的に経年火力の代替を進めるとともに、コスト競争力のある最新鋭の火力電源を開発する一環として、2019年5月より建設工事を進めてきたものです。

上越1号機の特長として、最先端技術を反映した「強制空冷燃焼器システム採用次世代ガスタービン」*を導入し、ガスコンバインドサイクル発電設備として世界最高水準となる63%以上の熱効率を達成いたしました。

これにより、燃料消費量と二酸化炭素排出量を削減し、高い経済性と環境負荷低減を実現いたします。

当社といたしましては、安全を最優先に、引き続き安定した電力の供給に努めてまいります。

以上

※三菱日立パワーシステムズ株式会社（現：三菱重工業株式会社）と当社の共同開発による次世代ガスタービン。本ガスタービンは、一般社団法人日本機械工業連合会の「平成30年度優秀省エネ機器・システム表彰」において「経済産業大臣賞」を受賞している。（2019年1月28日お知らせ済み）

（別紙）上越火力発電所1号機の概要